

こころころころご挨拶文

(参事 楠本 みちる)

三重県こころの健康センターから 8 年ぶりに戻り再び勤務できることをうれしく感じます。近年メンタルヘルスの課題を抱える人が増えていることを身近で感じている方は多いと思いますが、精神科医療機関に通院する人も増加の一途をたどっています。微力ながら県民の皆様、関係機関の皆様のお役に立てるよう努力していきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

(副院長 中瀬 玲子)

新年度が始まりました。様々な希望を胸に新しい生活にはいったことでしょう。人生には思いがけない困難に遭遇することが多々あります。そんな時、「柔らかさ（フレキシビリティ）は生である」と老子は残していますが、硬直的思考に陥らず、生き生きと、こころも体も柔らかく、思いやりのある行動をとれるように地道な努力をしていきたいと思います。よろしくお願い申し上げます。

(副院長兼地域生活支援部長 芳野 浩樹)

当院では、地域の方々の精神の病気に対し、医師や看護師、心理士、作業療法士、社会福祉士など多職種が密に連携し、迅速かつ丁寧に対応しています。近年は、思春期青年期の病や、新たな依存症にも力を入れています。治療の場だけでなく、地域で安心して暮らし続けられるよう、生活支援にも力を入れて、個々の人が自分らしく生きられるようにサポートしています。

(看護部長 吉田 博樹)

新年度を迎えるにあたり、看護部では「家族支援の充実」および「精神科認定看護師による看護相談の体制強化」を図り、より専門性の高い支援と質の高いケアを提供できるよう人材育成に努めてまいります。患者様とご家族、関係する機関のみなさまに信頼される看護を目指し、スタッフ一同、気持ちを新たに取り組んでまいります。本年度もどうぞよろしくお願ひいたします。